

(2) JR中央線豊田駅周辺地区（日野市）

駅周辺の団地再編や土地区画整理事業による、商業核の形成を中心としたまちづくり

ア 現状と課題

豊田駅は、新宿駅まで電車で約 46 分の距離にあり、1 日当たりの利用者数は 33,108 人である。駅の利用者は、駅周辺に立地する企業、工業団地等への通勤客が多い。

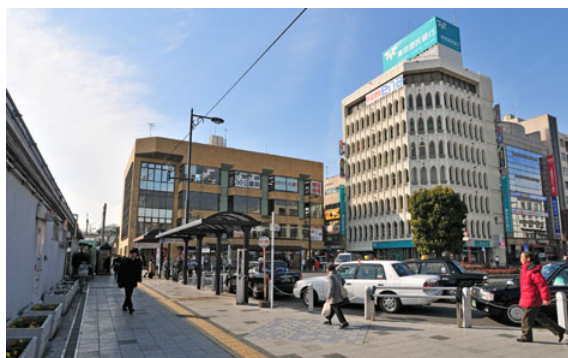
本地区においては、駅北口の駅前広場に、バスの乗降場やタクシー乗り場があるが、地域住民の自家用車による送迎利用などに対しては、十分なスペースが確保されていない。

駅北口周辺においては、若い世代が楽しめる商業施設や、子育て支援施設等の生活サービス施設が不足しているほか、駐車場、駐輪場も不足している。

駅南側の市街地は、スプロール化により整備が遅れていたが、現在、土地区画整理事業が施行中であり、基盤整備が進められている。

JR 中央線に沿って、段丘崖があり、駅の南北で高低差が大きい。しかし、駅の南北をつなぐ自由通路は、エレベーターやエスカレーターが未整備であり、バリアフリー化がなされていない。2005 年（平成 17 年）に策定された「日野市交通バリアフリー基本構想」においては、駅改札からホームまでのバリアフリー化、及び駅自由通路のバリアフリー化を、2010 年（平成 22 年）までに行うこととしている。

豊田駅周辺（北口）



(南口)



豊田駅構内の南北自由通路

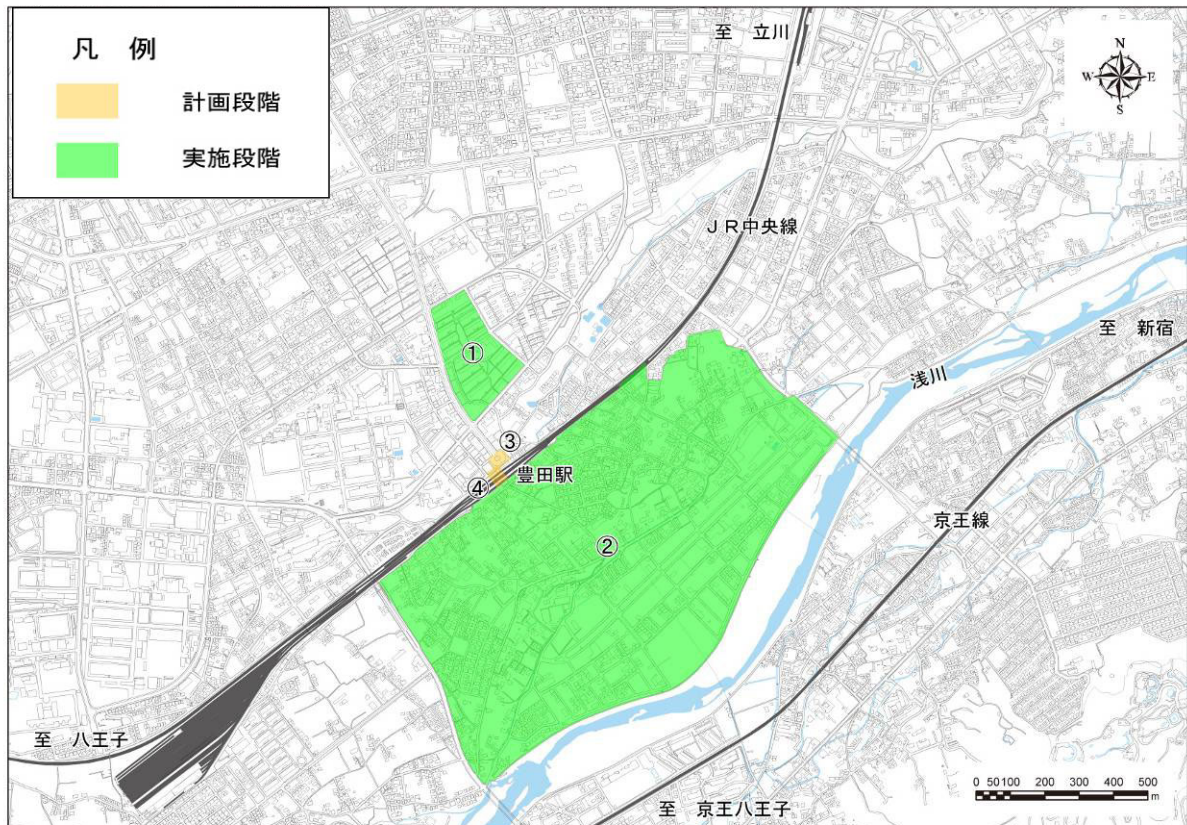


ウ 整備プロジェクトの推進

豊田駅周辺地区において、以下の整備プロジェクトを推進する。

多摩平団地の再編整備に伴う拠点形成（実施段階）(市、都市再生機構施行)
豊田南土地区画整理事業（事業中）(市施行)
駅北口周辺の基盤等整備（計画段階）
駅自由通路のバリアフリー化（計画段階）

豊田駅周辺地区のプロジェクト



多摩平団地の再編整備に伴う拠点形成

都市再生機構による団地の建替えを契機とした市街地の再編整備により、駅近傍の街区においては、地域の核となる商業施設の整備を促進する。あわせて、公益施設、駐車場や駐輪場、にぎわいを創出する広場や空地等の整備を促進するとともに、周辺の住宅と調和した良好な景観形成を誘導する。

団地の入居者、市、都市再生機構により組織されている、勉強会のテーマである「緑の継承と育成」のまちづくりをめざし、周辺の緑地、公園等と団地の緑が連携する緑のネットワークの形成を図る。

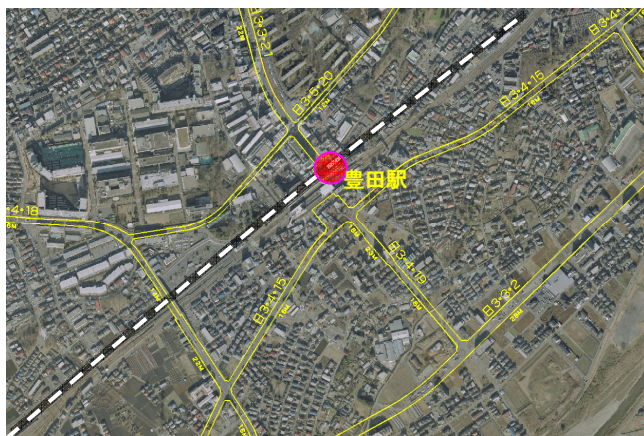
豊田南土地区画整理事業（事業中）

駅南口の駅前広場周辺の商業地区や、駅に通じる都市計画道の沿道に、商業・業務系の土地利用を誘導・促進し、商業等の活性化を図る。

土地区画整理事業区域を貫く広域幹線道路である東京八王子線（日野バイパス延伸部）の沿道では、後背にある住宅地の環境に配慮しつつ、自動車利用の利便性を向上させる沿道型商業、自動車関連サービスの土地利用を誘導・促進する。

住宅地区では、崖線、湧き水、用水路等の自然環境を生かし、水に親しめる良好な住環境の形成を促進する。

豊田南地区周辺



地区内の道路整備の状況



駅北口周辺の基盤等整備

豊田駅を利用する、工業団地への通勤者等の利便性の向上に向けて、駅北口周辺において、歩道の拡幅及び環境空地の確保、バス、タクシー等の一時停車スペースの確保などを進める。

また、駅周辺の建築物の耐震化を促進し、防災性の向上を図る。

駅前通り沿いの整備イメージ



駅自由通路のバリアフリー化

駅の南北をつなぐ自由通路の利便性、快適性の向上に向けて、エレベーターやエスカレーターの整備を促進する。

(3) J R 青梅線等拝島駅周辺地区（昭島市、福生市）

都市計画道路の整備にあわせた駅前市街地の再構築

ア 現状と課題

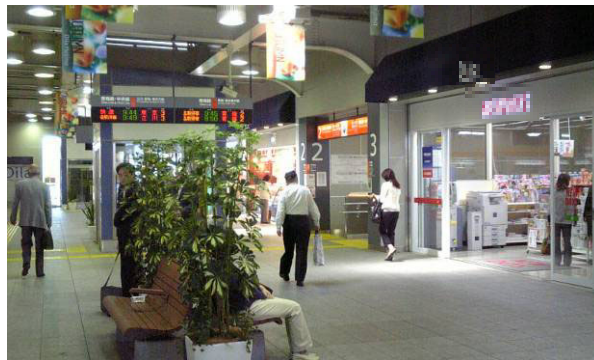
拝島駅は、昭島市と福生市にまたがって位置し、J R 青梅線、J R 五日市線、J R 八高線及び西武拝島線が乗り入れる、多摩西部における鉄道交通の重要な結節点であり、1日当たりの利用者数は、J R 線が 27,989 人、西武線が 31,478 人となっている。

長年にわたって駅の南北が分断されていたが、南北自由通路及び橋上駅舎が整備され、2007 年（平成 19 年）8 月から、駅南北間を円滑に移動することができるようになった。また、駅構内には、商業施設も併設され、利便性が向上した。

拝島駅橋上駅舎



J R 駅構内



駅南口は、駅前広場が狭小であるため、バスターミナルは駅から離れた位置にある。また、駅前のバス通りには、歩道がなく、安全な歩行者空間が確保されていない状況にある。

南口の駅前通りには、商店街が形成されているが、にぎわいが不足している。

現在、南口駅前広場を含む江戸街道線（昭島 3・4・2 号）の整備が進んでいる。この道路の整備を契機として、地元住民による駅南口周辺のまちづくりの検討が行われている。

拝島駅自由通路



拝島駅南口



イ 整備の考え方

昭島市では、市民の暮らしや交流のよりどころとなる「都市拠点」、交流を支える「都市軸」、自然との共生を育む「水と緑の骨格」の形成を基本としながら、地域の特性を踏まえたまちづくりを行うこととしている。

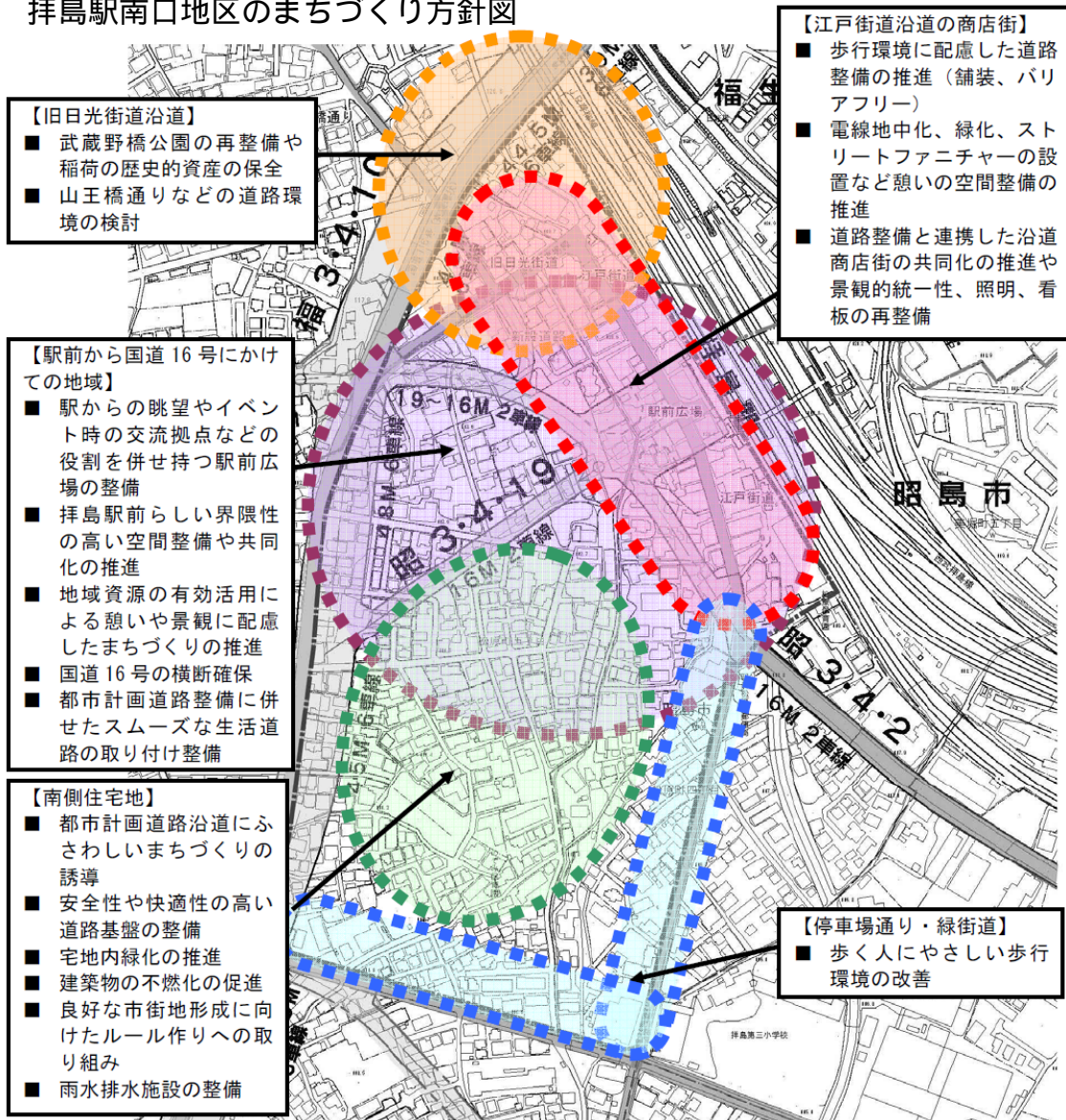
本地区は、「都市拠点」の一つである「地域活性化拠点」に位置付けられており、昭島市の西の玄関口として、駅南口の商業地などを中心に活気を維持・発展させ、にぎわいと交流を育むまちづくりを進めることとしている。

本地区においては、市民の暮らしを支え、ふれあいを高めていく拠点として、商業、交通、文化など多様な機能の導入・整備を進めるとともに、玉川上水など地域の資源を最大限に活用し、愛着の持てる魅力ある市街地の形成を図る。

自由通路及び橋上駅舎の整備に続けて、駅南口の基盤整備を進めるとともに、バリアフリー化を図るなど、安全で快適な歩行者空間の確保を促進する。

駅南口では、江戸街道線の整備にあわせて、周辺市街地の機能の更新を図る。

拝島駅南口地区のまちづくり方針図

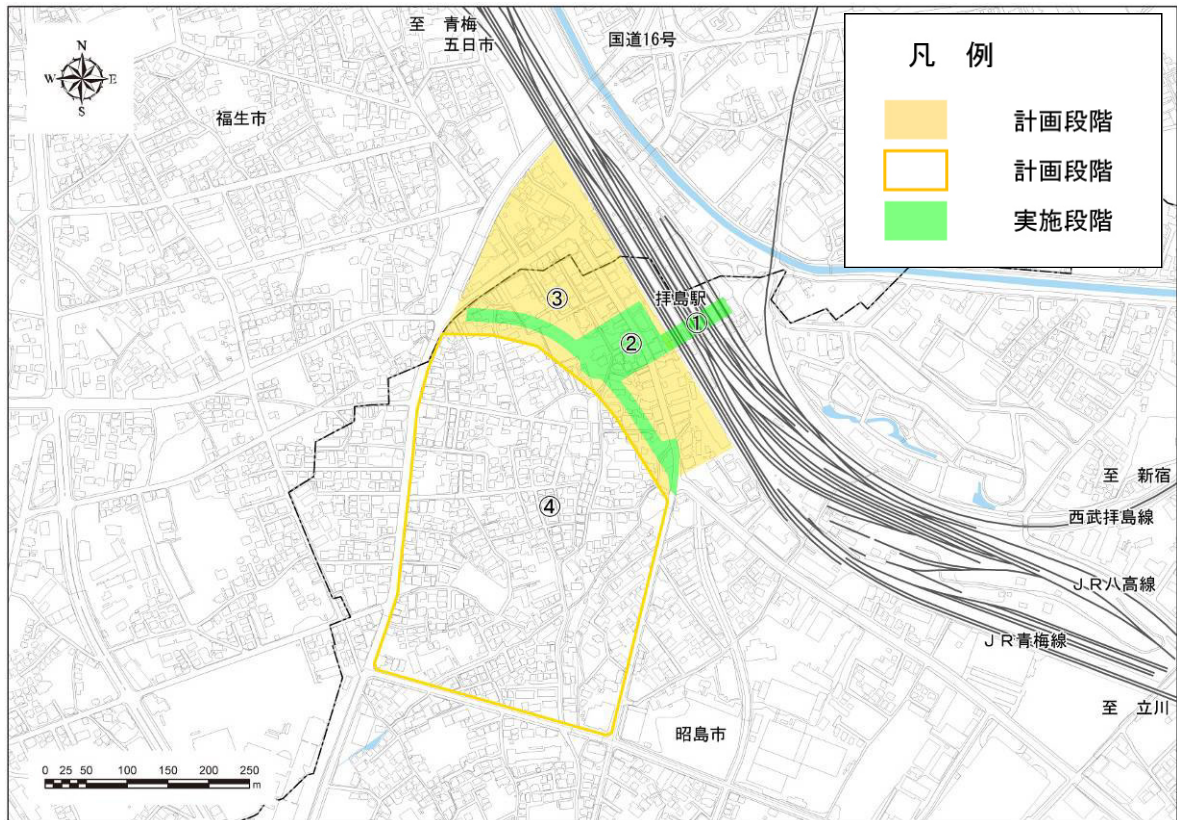


ウ 整備プロジェクトの推進

拝島駅周辺地区において、以下の整備プロジェクトを推進する。

自由通路の整備と駅の機能更新（事業中）(市、民間施行)
駅南口周辺道路整備事業（事業中）(市施行)
駅南口駅前のまちづくり（計画段階）
駅南口周辺のまちづくり（計画段階）

拝島駅周辺地区のプロジェクト



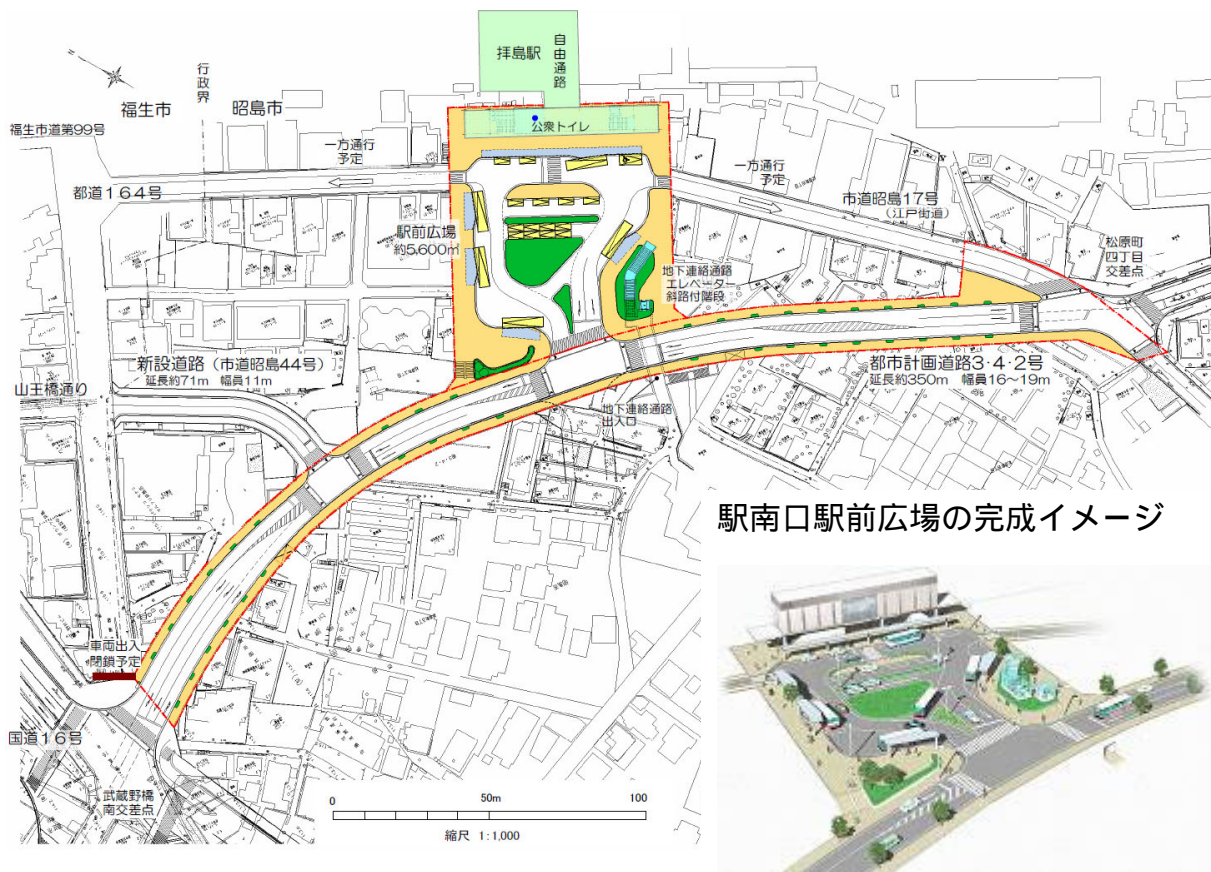
自由通路の整備と駅の機能更新（事業中）

拝島駅において、エレベーターの設置などバリアフリーに対応した南北自由通路及び駅の橋上化の整備を促進し、地域住民等の安全性、利便性の向上を図る。

駅南口周辺道路整備事業（事業中）

駅南口における都市基盤の整備を図るため、面積約5,600㎡の南口駅前広場と、これにつながる延長約350m、幅員16～19mの道路について、昭島市が、国の補助対象事業として交通結節点改善事業により整備を進めており、この促進を図る。

拝島駅南口の整備計画



駅南口駅前広場の完成イメージ



駅南口駅前のまちづくり

2005年度（平成17年度）に、駅南口の自治会、商店会等の代表者で構成する「拝島駅南口まちづくり検討会」が発足し、まちづくりの目標やまちづくりの基本方針が策定された。

2007年（平成19年）7月には、南口駅前地区を重点地区として、より具体的な検討を行うため、土地・建物所有者や住民により「拝島駅南口駅前地区まちづくり協議会」が設立され、2008年度（平成20年度）から、三つの部会において、まちづくりの計画策定のための具体的な検討が行われている。

今後、地元住民等によるまちづくりの取組を促進する。

駅南口周辺のまちづくり

「拝島駅南口まちづくり検討会」の検討結果や、「拝島駅南口駅前地区まちづくり協議会」の検討状況を踏まえ、段階的にまちづくりの検討が行われるよう、地元住民等の取組を促進する。

(4) 京王線調布駅・布田駅・国領駅周辺地区（調布市）

連続立体交差事業と一体となった中心市街地のまちづくり

ア 現状と課題

連続立体交差事業が進む調布市の中心市街地は、調布駅、布田駅、国領駅と、周辺の幹線道路により構成される約 200ha のエリアである。

調布駅は、京王線のターミナル駅であり、特急で新宿駅まで約 15 分の距離にある。1 日当たりの利用者数は 114,647 人と、京王線沿線では新宿駅に次いで多い。

京王線の連続立体交差事業は、京王京王線区間の約 2.8km 及び京王相模原線区間の約 0.9km を地下化するものであり、本事業により、調布駅、布田駅、国領駅のホームが地下化され、南北駅前広場が一体化するとともに、沿線 18 箇所の踏切が除却される。

調布駅周辺(北口)



(南口)



京王線の連続立体交差事業に伴う踏切の除却箇所



調布市の中心市街地の核となる調布駅・布田駅・国領駅周辺では、都市基盤の整備とともに各種の面開発事業が進んでいる。特に、調布駅では、調布駅南第1地区第一種市街地再開発事業が2008年(平成20年)度に完了し、さらに調布駅北第1地区や調布駅南口東地区において事業化に向けた検討が進んでいる。

国領駅周辺では、国領駅南地区及び国領駅北地区の市街地再開発事業が完了している。また、布田駅周辺では、布田駅南土地地区画整理事業が進んでいるほか、地区計画制度を活用したまちづくりが進められている。

調布市の中心市街地のまちづくりにおいては、京王線の地下化による都市構造の変化にあわせた駅前広場と鉄道敷地の活用、商業の活性化、まちのにぎわいや回遊性の向上に資する、ソフト・ハードが一体となった駅周辺や既存商店街の魅力アップ、都市基盤の整備による南北交通の円滑化などに取り組む必要がある。

市では、改正中心市街地活性化法の施行にあわせて、商工会や中心市街地活性化協議会準備会とともに、中心市街地活性化基本計画の策定、ソフト・ハードが一体となった中心市街地の活性化策の立案に取り組んでいる。

イ 整備の考え方

調布市は、働く場、買い物場、文化に触れる場など、様々な都市機能を育成し、利便性が高く自立性を備えた、住み続けたいと思えるまちをめざして、将来像を「みんながつくる・笑顔輝くまち調布」と定めている。

この将来像の実現に向けて、調布駅など交通結節点としての性格が強い鉄道駅の周辺地区を、高度な商業、業務、文化等の都市機能を充実させる生活拠点として位置付け、育成していく。また、道路や公園、駅等の公共空間のバリアフリー化や環境整備を進め、誰にとっても住みやすく、やさしいまちづくりをめざす。

中心市街地にふさわしい「顔づくり」、交流拠点の場となる駅前広場や市役所前通りの整備など、まちづくりにとって必要性の高い事業を「重点計画事業」として位置付け、京王線の連続立体交差事業と一体となった事業の実施を促進する。

市の中心市街地である調布駅、布田駅、国領駅の鉄道敷地及び周辺を対象として、都市空間のデザインの考え方を、中心市街地デザイン・コンセプトとして取りまとめ、駅前広場と鉄道敷地について、既存の資源とのネットワーク化に努めながら、調和のとれた都市空間のデザインを行う。

また、京王線連続立体交差事業や幹線道路等の整備により、東西南北の歩行者空間ネットワークを構築し、回遊性の向上をめざす。

調布駅周辺地区では、商業、業務、文化、住宅など様々な機能を備えた、生活拠点にふさわしい魅力あふれるまちづくりを促進する。また、駅前広場を中心に、歩行者が買い物や会話、景色等を楽しみながら、ゆったりと歩ける歩行者の回遊軸づくりを促進するなど、ゆとりとうるおいのあるまちづくりをめざす。

国領駅周辺地区では、中心市街地の東の要として副次的機能を充実し、調布市の新しい顔としての都市機能を有する拠点の形成をめざす。また、国領駅周辺地区の東端で実施している住宅市街地総合整備事業を推進する。

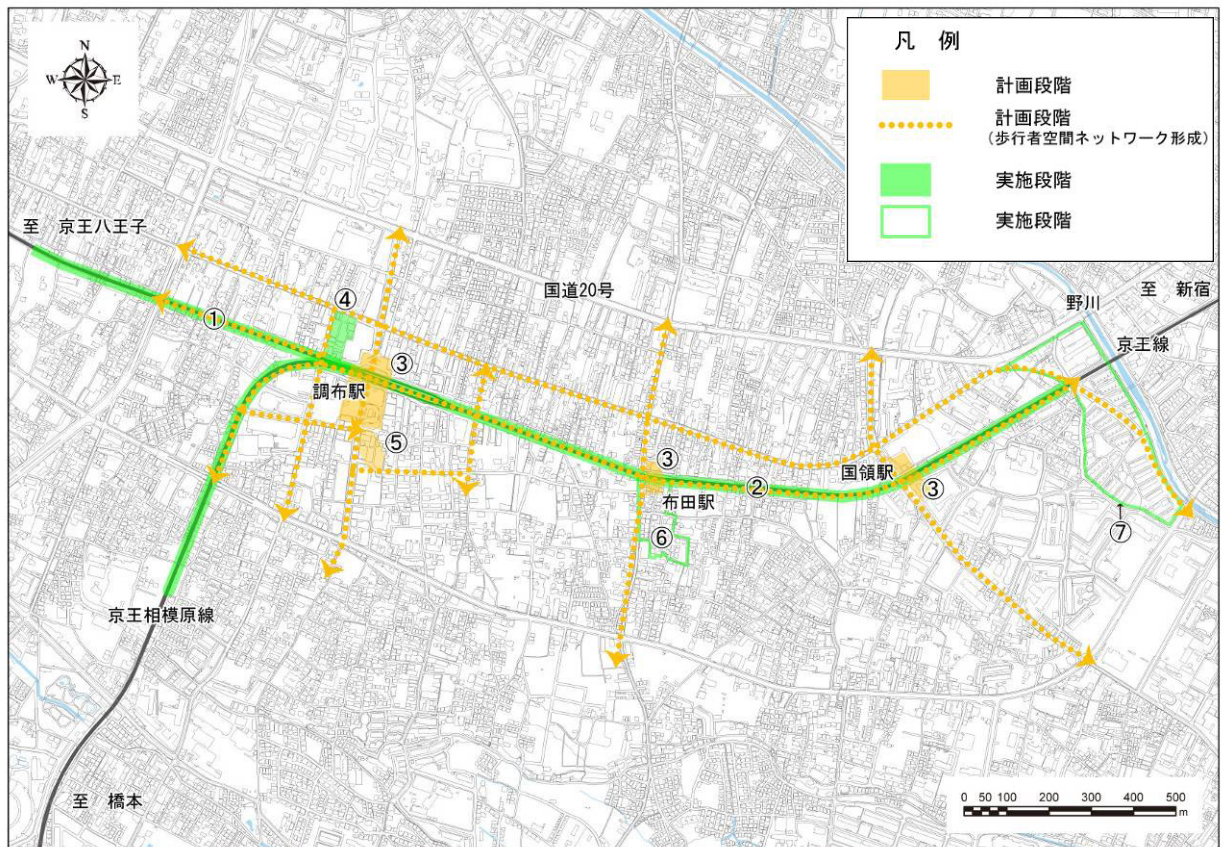
布田駅周辺地区では、連続立体交差事業とあわせて布田駅南土地地区画整理事業が進められている。この面整備とともに、駅前広場や多摩川三鷹線（調布 3・4・26号）の整備を促進し、密集市街地の防災性の向上を図る。

ウ 整備プロジェクトの推進

調布駅・布田駅・国領駅周辺地区において、以下の整備プロジェクトを推進する。

- 京王線連続立体交差事業（事業中）（都施行）
- 鉄道敷地等の歩行者空間ネットワークの形成（計画段階）
- 駅前広場等（調布駅・布田駅・国領駅）の整備（計画段階）
- 調布駅北第1地区第一種市街地再開発事業（実施段階）（民間施行）
- 調布駅南口東地区の再開発（計画段階）
- 布田駅南土地区画整理事業（事業中）（市施行）
- 国領駅東地区住宅市街地総合整備事業（事業中）（都、市施行）

調布駅・布田駅・国領駅周辺地区のプロジェクト



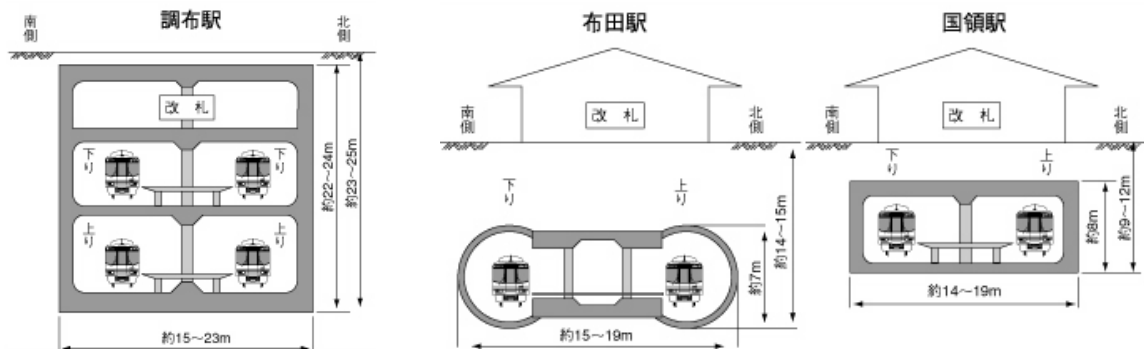
京王線連続立体交差事業（事業中）

鉄道を一定区間連続して立体化し、多数の踏切の除却や交差道路との立体交差を行うため、調布駅の西側から布田駅を経て国領駅の東側に至る区間において、地下方式による連続立体交差事業が進んでいる。

引き続き、事業の円滑な実施を図る。

京王線連続立体交差事業

（断面図）



鉄道敷地等の歩行者空間ネットワークの形成

京王線の地下化に伴う駅前広場と鉄道敷地の活用を一体的に検討するため、市民との協働により中心市街地デザイン・コンセプトを策定し、これに基づき、中心市街地における既存資源とのネットワーク化を図る。

現在、市では、鉄道敷地の活用にあわせた沿道地区のまちづくりについて、地元とともに検討を行っている。

市の中心市街地活性化基本計画において、歩行者の回遊を促す、魅力ある商店街の実現に向けた活性化事業の検討を進め、まちづくりとの連携を図る。

駅前広場等（調布駅・布田駅・国領駅）の整備

調布駅、布田駅、国領駅の駅前広場については、市民との協働により鉄道敷地との一体的な活用をめざして、中心市街地デザイン・コンセプトを策定し、これに基づき、連続立体交差事業にあわせた具体的な整備を計画的に促進する。

魅力ある駅前広場の実現に向けて、中心市街地活性化基本計画の検討において、広場の整備と活性化事業との連携を図る。

調布駅北第1地区第一種市街地再開発事業

本地区は、市の中心市街地街づくり総合計画において、「拠点ゾーン・商業ブロック」の形成が望まれる駅前地区に位置付けられている。

市街地再開発事業により、地域の商業拠点にふさわしい、回遊性が高く、活気やにぎわいのある商業施設の整備を促進する。

あわせて、都市計画道路等の都市基盤施設の一体的な整備を促進する。

調布駅北第1地区



再開発事業の完成イメージ



調布駅南口東地区の再開発

調布駅南口の駅前広場に面するエリアにおいて、駅前地区にふさわしい土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、再開発の事業化に向けた検討を促進する。

布田駅南土地区画整理事業（事業中）

布田駅南口において、京王線の連続立体交差事業とあわせ、駅前広場や都市計画道路の整備を図るとともに、街区・宅地、生活道路や公園の整備を促進し、駅前にふさわしい土地利用の実現、生活の安全性の確保、利便性の向上を図る。

国領駅東地区住宅市街地総合整備事業（事業中）

国領駅東地区において、喜多見国領線（調布3・4・7号）を整備し、周辺地域における交通渋滞の緩和を図るとともに、京王線に沿った緑道の整備、車橋の架け替え、区画道路の再整備等により、安全でゆとりのある歩行者空間のネットワークの形成を図る。

老朽化した公営住宅等の建替えにより、地域コミュニティの活性化を図るとともに、公園の整備や敷地内の緑化等により、緑豊かな居住環境の創出を図る。